

# 高齡障がい政策課

- ・ 高 齡 者 支 援 係

- ・ 障 が い 福 祉 係

# 1. 高齢者支援係

## (1) 老人福祉総務

事業名 (事業発足年度)		予算額	事業概要														
1. 老人福祉総務	(1) 民間社会福祉施設整備 借入資金利子補助事業 (昭和62年度)	千円 2,025	<p>民間社会福祉事業振興のため、民間事業者等が社会福祉施設整備資金を融資機関から借入れたとき、支払う利子の補助を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・独立行政法人福祉医療機構及び 群馬県社会福祉協議会からの資金 1/2以内</li> <li>・市内金融機関からの資金 2/3以内(3%を上限)</li> </ul> <p>※ただし、他団体等から利子補助を受けている場合の補助金は、市長が別に定める。</p>														
2. 敬老の日関係事業	敬老祝金贈与事業 (昭和61年度)	13,214	<p>市内に居住する80歳以上の高齢者に対し、敬老祝金を贈る。(平成24年度より85歳を除く。)</p> <table> <tr> <td>○80歳</td> <td>年額</td> <td>5,000円</td> </tr> <tr> <td>○90歳</td> <td>年額</td> <td>10,000円</td> </tr> <tr> <td>○95歳</td> <td>年額</td> <td>15,000円</td> </tr> <tr> <td>○100歳</td> <td>年額</td> <td>100,000円</td> </tr> </table> <p>[令和6年度] 1,272人</p> <p>市内に居住する100歳到達者に慶祝状等を贈り祝意を表す。</p> <p>[令和6年度]</p> <table> <tr> <td>100歳到達者</td> <td>31人</td> </tr> </table>	○80歳	年額	5,000円	○90歳	年額	10,000円	○95歳	年額	15,000円	○100歳	年額	100,000円	100歳到達者	31人
○80歳	年額	5,000円															
○90歳	年額	10,000円															
○95歳	年額	15,000円															
○100歳	年額	100,000円															
100歳到達者	31人																
3.	合同金婚式等事業 (昭和45年度)	2,043	<p>結婚50周年を迎えた夫婦を招待し、合同金婚式典を行い祝意を表す。又結婚60周年を迎えた夫婦には慶祝状等を贈る。</p> <p>[令和6年度]</p> <table> <tr> <td>金婚式</td> <td>144組</td> </tr> <tr> <td>ダイヤモンド婚</td> <td>117組</td> </tr> </table> <p>(令和3年度より金婚式の実績は申出数)</p>	金婚式	144組	ダイヤモンド婚	117組										
金婚式	144組																
ダイヤモンド婚	117組																
4.	施設入所者 援護事業 (昭和38年度)	100,505	<p>おおむね65歳以上であって、心身上・環境上及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な人を、短期又は長期に施設に入所させ生活の安定を図る。</p> <p>[令和6年度]</p> <table> <tr> <td>○養護老人ホーム</td> <td>27人</td> </tr> <tr> <td>(館林養護老人ホーム伸楽園)</td> <td>27人)</td> </tr> <tr> <td>(自立生活支援短期入所(伸楽園))</td> <td>1施設 1,379日)</td> </tr> </table>	○養護老人ホーム	27人	(館林養護老人ホーム伸楽園)	27人)	(自立生活支援短期入所(伸楽園))	1施設 1,379日)								
○養護老人ホーム	27人																
(館林養護老人ホーム伸楽園)	27人)																
(自立生活支援短期入所(伸楽園))	1施設 1,379日)																

## (2) 生きがい対策

事業名 (事業発足年度)		予算額	事業概要								
1. シルバー人材センター 運営費補助事業 (昭和58年度)		千円 18,000	高齢者が長年培った知識、経験等を積極的に活用できるような雇用機会の提供を行うと共に、生きがいの充実と社会参加の促進を図る。 〔令和6年度〕 会員数 301人								
2. 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業	(1) 高齢者クラブ活動育成事業 (昭和38年度)	3,062	高齢者クラブの自主的な活動を助長し、活動実践を通して、自らの生きがいを高め、長年培ってきた知識や経験を、仲間や地域社会のために生かすことを目的とする。 〔令和6年度〕 50人未満クラブ 22クラブ 50人以上クラブ 19クラブ 7地区 41クラブ 全会員数 2,126人								
	(2) 高齢者魅力ある地域づくり事業 (平成12年度)	100	地域の特色やニーズを生かし、高齢者自らが考え実践し、魅力ある地域づくりの担い手として活動する事業に対し、その活動費の一部を補助する。また、スポーツ広場等の設置補助も行う。 〔令和6年度〕 高齢者スポーツひろば整備等 0件								
	(3) ふれあい・いきいきサロン (コミュニティーサロン) 設置運営事業 (平成9年度)	455	地域福祉の充実を図るため、地域住民が主体となり、地域の集会所等を活用したふれあいの場を設け、自主的・自発的に行う交流活動に対し、その活動費等の一部を補助する。 〔令和6年度〕 39か所								
3. 老人福祉センター 運営事業 (昭和58年度)		8,617	高齢者の健康維持増進、教養の向上及び余暇利用により高齢者の生きがいを高める施設である。 〔令和6年度 利用実績〕 開館日 293日 <table border="1"> <tr> <td>利用者数</td> <td>延 15,707 人</td> </tr> <tr> <td>自主グループ (14グループ)</td> <td>7,029 人</td> </tr> <tr> <td>講座等 (介護予防含む)</td> <td>8,503 人</td> </tr> <tr> <td>その他 (個人利用者等)</td> <td>175 人</td> </tr> </table>	利用者数	延 15,707 人	自主グループ (14グループ)	7,029 人	講座等 (介護予防含む)	8,503 人	その他 (個人利用者等)	175 人
利用者数	延 15,707 人										
自主グループ (14グループ)	7,029 人										
講座等 (介護予防含む)	8,503 人										
その他 (個人利用者等)	175 人										

## (3) 在宅福祉サービス

事業名 (事業発足年度)		予算額	事業概要	
1. 高齢者在宅サービス推進事業	(1)	千円 1,382	在宅のおおむね65歳以上ひとり暮らし高齢者等に対し、日常生活の向上と、介護者の負担軽減を図るために、日常生活用具の給付を行う。	
	日常生活用具給付内訳	① 火災警報器等	85	おおむね65歳以上であって、心身機能の低下に伴い配慮が必要なひとり暮らし高齢者等に対し、火災警報器等の日常生活用具を給付する。
		② 電磁調理器		
		③ シルバーホン		
	④ 尿漏れパット給付事業 (平成6年度)	1,297	在宅で尿漏れパットを必要とするおおむね65歳以上の寝たきり高齢者等に給付を行う。 (所得税非課税世帯 年4回 課税世帯 年2回)	
	(2)	6,037	要介護4、5の65歳以上高齢者を、在宅で1年以上介護している介護者に介護慰労金を支給する。  支給額 60,000円/人 〔令和6年度〕 87件	
	(3) 在宅生活支援事業	① 緊急通報装置設置事業 (平成元年度)	13,535	ひとり暮らし高齢者等が急病など緊急を要する事態に陥った時に、直ちに消防署に通報ができて、救急車の出動ができる装置を設置し、地域の協力を得て、支援体制を整備する。  〔令和6年度〕 新規60台 (累計 300台)
		② 保険適用外はり・きゅう・マッサージ施術料助成事業 (平成元年度)	1,600	各種保険の適用を受けない「はり・きゅう・マッサージ」を受療する、寝たきり高齢者及びその介護者、前年の所得税が非課税の満70歳以上の高齢者に対して、年間6枚(1枚1,000円)の助成券を交付する。  〔令和6年度〕 実利用枚数 1,405枚
		③ ひとり暮らし高齢者等給食サービス事業 (平成元年度)	15,690	おおむね65歳以上の常時又は日中高齢者のみとなる世帯に対して健康維持、家事負担の軽減、安否の確認を目的とする。  実施日 配食サービス (毎週 月曜日～金曜日) 1食あたり594円 (本人負担350円)  〔令和6年度〕 配食 延 18,902食
		④ 寝具乾燥殺菌事業 (昭和49年度)	605	寝たきり高齢者等の寝具を丸洗い乾燥し、衛生的な環境をつくり機能の回復と生活の向上を図る。  〔令和6年度〕 実施期日( 5月・9月・1月 ) 丸洗い寝具乾燥 延 30組

事業名 (事業発足年度)		予算額	事業概要
高齢者在宅サービス推進事業	(3) 在宅生活支援事業	⑤ 在宅ねたきり高齢者等出張理・美容サービス事業 (平成9年度)	千円 105 寝たきり状態のため自力で理・美容店へ行くことのできない要介護4,5に該当する在宅の65歳以上の高齢者に対して、出張理・美容サービスを行うことにより、衛生的で快適な生活の向上を図る。 1枚につき 3,500円 〔令和6年度〕実利用者数 8人 実利用枚数 25枚
		⑥ 救急医療情報キット設置事業 (平成22年度)	57 ひとり暮らし高齢者に救急医療情報キットを配付し、その中に、診察券や健康保険証の写し、持病記録、かかりつけ医の連絡先などの情報を入れ、自宅冷蔵庫内に保管しておくことで、万一の救急時に備える。 〔令和6年度〕 335本
		⑦ 介護用車両購入費等補助金 (平成23年度)	590 要介護者の外出等に利用する介護用車両の購入費の一部又は介護用車両へ改造する場合の経費の一部を補助する。 〔令和6年度〕 4件
		⑧ 認知症高齢者等利用料助成事業 (平成14年度)	47 社会福祉協議会が実施する日常生活自立支援事業の利用者負担の一部を助成する。 〔令和6年度〕 14人
		⑨ 市民後見人養成事業 (平成27年度)	5,936 市民後見人を養成するため、講座費用を補助する。 〔令和6年度末〕 市民後見人養成講座修了者 延 75人
		⑩ 高齢者補聴器購入費補助事業 (令和5年度)	200 難聴により日常生活に支障がある、住民税非課税世帯に属する高齢者の補聴器の購入費の一部を補助する。 〔令和6年度〕 3件
2. 高齢者向け住宅整備事業 (平成3年度)	500	① 住宅改造費補助 高齢者等が心身機能の低下に対応した住環境整備のため、住宅改造を行う場合に一定額を補助する。 (ただし、住宅改修相談委員が必要と認めた工事に限り補助対象となる。) 補助基本額 600,000円(市補助5/6 改造者負担1/6) 〔令和6年度〕 1件	

## 2. 障がい福祉係

### (1) 障害者総合支援法事業

事業名 (事業発足年度)	予算額	事業概要
1. 介護給付費 (平成18年度)	千円 653,122	<p>居宅介護、生活介護、短期入所、施設入所支援等、介護系サービスを利用した際に介護給付費を支給する。</p> <p>[令和6年度] ※支給決定者数(令和7年3月31日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 居宅介護(ホームヘルプサービス) 71人</li> <li>・ 重度訪問介護 3人</li> <li>・ 行動援護 8人</li> <li>・ 同行援護 13人</li> <li>・ 療養介護 14人</li> <li>・ 生活介護 204人</li> <li>・ 短期入所 71人</li> <li>・ 施設入所支援 93人</li> </ul>
2. 障がい児給付費 (平成24年度)	585,335	<p>心身障がい児に対する地域福祉施策の一環として、集合療育訓練の場を提供し、在宅の知的・肢体不自由等の障がいを有する幼児の生活指導及び機能訓練を行う。</p> <p>[令和6年度] ※支給決定者数(令和7年3月31日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童発達支援 172人</li> <li>・ 放課後等デイサービス 264人</li> <li>・ 保育所等訪問支援 9人</li> <li>・ 居宅訪問型児童発達支援 0人</li> </ul>
3. 訓練等給付費 (平成18年度)	615,783	<p>機能の維持・向上や就労支援等のための訓練を受けた場合に訓練等給付費を支給する。</p> <p>[令和6年度] ※支給決定者数(令和7年3月31日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共同生活援助(グループホーム) 147人</li> <li>・ 自立訓練 6人</li> <li>・ 就労移行支援 11人</li> <li>・ 就労継続支援A型 64人</li> <li>・ 就労継続支援B型 211人</li> <li>・ 就労定着支援 1人</li> </ul>
4. 補装具費 (平成18年度)	9,024	<p>障がい者等の身体機能を補完し、又は代替し、かつ長期間にわたり継続して使用される義肢・装具・車いす等の購入費及び修理費を支給する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 更生相談所長の判定により、補装具費支給の適否を決定する。</li> </ul> <p>[令和6年度] 障がい者 交付 50件・修理 41件 障がい児 交付 18件・修理 13件</p>
5. 療養介護医療費 (平成18年度)	11,863	<p>進行性筋萎縮症患者等が病院や施設で日常生活上の世話を受けている場合に、医療費の公費負担を行う。</p> <p>[令和6年度] 14人</p>
6. 更生医療費 (平成18年度)	65,173	<p>身体上の障がいを除去又は軽減し身体能力を増進させ、日常生活を容易にする目的で医療を支給する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 更生相談所長の判定により、給付の適否を決定する。</li> <li>・ 厚生労働大臣が指定する医療機関</li> </ul> <p>[令和6年度] 42人</p>
7. 育成医療費 (平成25年度)	1,435	<p>身体上の障がい及び疾患を有する児童(18歳未満)が、手術等により確実なる治療効果が期待できることを目的として医療を支給する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 館林市長が給付の適否を決定する。</li> <li>・ 厚生労働大臣が指定する医療機関</li> </ul> <p>[令和6年度] 2人</p>

事業名 (事業発足年度)	予算額	事業概要
8. 難聴児補聴器費 (平成25年度)	千円 148	<p>身体障害者手帳の交付対象とならない軽・中度の難聴児の言語習得やコミュニケーション能力の向上を図るため、補聴器購入等費用の一部を補助する。</p> <p>[令和6年度] 1人</p>
9. 地域生活支援事業 (平成18年度)	94,484	<p>障がいのある人が、その有する能力や適性に応じ自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、地域の実情に応じ各種事業を実施する。</p> <p>○相談支援事業 (29,982千円) 障がい児者の保護者等からの相談に応じ、必要な情報の提供や、権利擁護のための援助を行い、障がい者等が自立した日常生活、社会生活を営むことができるようにする。</p> <p>○意思疎通支援事業 8,767千円) 手話通訳者の設置、手話通訳者・要約筆記者の派遣を行い、聴覚障がい者の社会生活の支援を図る。 [令和6年度] 手話通訳派遣 263人 要約筆記派遣 5人</p> <p>○日常生活用具給付等事業 (17,154千円) 重度障がいのある人等に日常生活上の便宜を図るため、日常生活用具を給付又は貸与する。 [令和6年度] 障がい者 199人 障がい児 3人</p> <p>○移動支援事業 (2,967千円) 屋外での移動に困難がある障がい児者に外出のための支援を行い、地域での自立生活及び社会参加を促す。 [令和6年度] 23人</p> <p>○地域活動支援センター事業 (18,704千円) 地域生活支援の促進を図るため、創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等を行う。 [令和6年度] 施設2か所 若草作業所(精神) 22人 スワン(3障がい) 6人</p> <p>○福祉ホーム事業 414千円) 福祉ホームに低額な料金で居室その他の設備を利用し、生活の場を確保する。 [令和6年度] 1人</p> <p>○訪問入浴サービス事業 (1,829千円) 心身及び身体上の障がいのため、家庭での入浴が困難な障がい者の自宅へ移動入浴車で訪問し入浴補助を行う。 [令和6年度] 1人</p> <p>○知的障がい者職親委託事業 (30千円) 知的障がい者の更生援護に熱意のある事業経営者(職親登録者)に知的障がい者を一定期間預け、生活指導及び技術習得訓練を行い自立更生を促進する。 [令和6年度] 職親委託者 0人 職親登録者 8人</p> <p>○日中一時支援事業 2,191千円) 障がい児者を一時的に預かる事により、日中活動の場を提供し、見守り及び社会に適應するための日常的な訓練等を行う。 [令和6年度] 25人</p> <p>○日中一時支援事業〔登録介護者・サービスステーション〕 8,627千円) 心身障がい児(者)を介護している保護者が、病気や冠婚葬祭、旅行などで一時的に介護することが出来ない場合に県で認可されているサービスステーション及び市に登録された介護者に保護を委託し、心身障がい児(者)の福祉の増進と保護者の負担軽減を図る。 [令和6年度] サービスステーション 34人</p>

事業名 (事業発足年度)	予算額	事業概要
9. 地域生活支援事業 (平成18年度)	千円  94,484	<p>○生活サポート事業 ( 2 千円) 障がい程度区分認定非該当の者に対しホームヘルプなどの必要なサービスを提供する。 〔令和6年度〕 0 人</p> <p>○点字広報・声の広報等発行事業 ( 177 千円) 視覚・聴覚障がい者が社会生活を営む上で、情報を提供することにより、社会参加と交流の場を設け、視覚・聴覚障がい者の福祉の増進を図る。</p> <p>○手話通訳者養成研修事業 ( 320 千円) 手話通訳者・奉仕者を養成する研修講座を実施する。 〔令和6年度〕 手話講習会 入門 10 人 ( 25 回) 基礎 4 人 ( 25 回)</p> <p>○身体障がい者自動車運転免許取得費・自動車改造費補助事業(410 千円) 自動車運転免許の取得及び自動車の改造に要する費用の一部を助成する。 〔令和6年度〕 2 人</p> <p>○成年後見制度利用支援事業 ( 1,309 千円) 身寄りのない人や親族の協力が得られない知的障がい者、精神障がい者に対する権利及び利益保護のため、市長が成年後見制度等開始の申立てを行い、その費用を立替する。 〔令和6年度〕 開始申立 0 人 利用者助成 6 人</p> <p>○医療的ケア支援事業 ( 389 千円) 看護師配置のない通所施設や学校等に通っている、医療的ケアを必要とする障がい児(者)に対して、導尿やたんの吸引等を行うことにより、介護者の負担を軽減する。 〔令和6年度〕 0 人</p> <p>○在宅血液透析患者支援事業 ( 320 千円) 在宅で血液透析を行う腎臓機能障がい者の、身体的負担の軽減と就労機会の増進により自立促進を図る。 〔令和6年度〕 0 人</p>
10. 障がい認定 調査事業 (平成18年度)	902	<p>障がい者等が介護給付又は訓練等給付のサービスを利用するために必要となる、障がい支援区分認定のための訪問調査を行う。 〔令和6年度〕 調査件数 140 件 身体障がい 32 件 知的障がい 77 件 精神障がい 31 件</p>
11. 障がい支援区分 認定審査会運営 (平成18年度)	8,213	<p>障がい者に対する介護給付の必要度を表す6段階の区分を市町村審査会で審査判定する。 〔令和6年度〕 審査会開催回数 24 回 審査件数 391 件 (うち館林市分150件)</p>

## (2) 障がい福祉事業

事業名 (事業発足年度)	予算額	事業概要
1. 心身障がい者 就職祝金支給事業 (昭和58年度)	千円 10	心身障がい者が障がい者施設での就労訓練を終了し、就職等により自立した場合に就職祝金を1人10,000円支給する。 〔令和6年度〕 0人
2. 腎臓機能障がい者 等通院交通費補助 事業 (昭和57年度)	1,976	腎臓機能障がい者等が人工透析療法のため指定医療機関へ通院する場合、通院に要する費用の一部を助成する。 ・市内に居住し、身体障害者手帳の交付を受けた腎臓機能障がい者等 ・前年分所得税が非課税かつ自宅から病院までの距離が、往復2km以上であること。 <通院交通費の助成額> 鉄道、定期路線バス等の交通機関を利用した場合はその運賃額、タクシーや介護タクシーを利用した場合は領収書で確認できる運賃の額、自家用自動車による場合は1km当たり16円として算出する。 ひと月当たりの補助上限額は、タクシーやバス等、自家用自動車の場合いずれも下表のとおりとする。 通院距離(往復) 上限額(月額) 2km ~25km未満 2,600円 25km ~75km未満 3,200円 75km以上 5,200円 〔令和6年度〕 83人
3. 心身障がい児(者) 扶養共済事業 (昭和45年度)	11,084	心身に障がいがあり、独立して生活することが困難な心身障がい者を扶養している保護者が毎月掛金を支払い、保護者が死亡した場合に、残された心身障がい者の生活の安定を図るために年金を支給する。 ※制度への加入条件 ・将来独立自活困難な知的障がい者・身体障がい者(1~3級)・その他同程度の者 ・保護者は65歳未満であること。 〔令和6年度〕 ・加入者 16人(うち10人2口加入) ・年金受給者 33人(うち6人2口受給)(停止者含む)
4. 親子すこやか教室 事業 (昭和48年度)	396	在宅の心身障がい児者を対象に集合訓練(母子通園)を行う。 ・母子通園 毎月第二・四土曜日に理学療法士による個別指導 〔令和6年度〕 通園児者数 2人
5. 特別障がい者手当 等支給事業 (昭和61年度)	35,570	在宅の重度障がい者が、その障がいによって生ずる特別の負担の一助として手当を支給する。(所得制限等有り) ・手当月額 特別障害者手当 29,590円 97人 障害児福祉手当 16,100円 27人 福祉手当 16,100円 0人 〔令和6年度〕 124人(停止者含む)

事業名 (事業発足年度)	予算額	事業概要
6. 特別児童扶養手当 支給事業 (昭和41年度)	千円 265	在宅の重度障がい児(20歳未満)を監護(養育)する父又は母等に対し、特別児童扶養手当を支給する。(所得制限等有り) 1級障がい 月額 56,800円 54人(児童数) 2級障がい 月額 37,830円 88人(児童数) 〔令和6年度〕 受給者 136人(停止者含む)
7. こころの健康相談 (平成14年度)	477	精神的健康の保持増進を図るために精神科医師による健康相談を行い、心の健康を図る。 毎月1回(第2木曜日) 予約制 〔令和6年度〕 5人
8. 民間社会福祉施設 整備借入資金利子 補助事業 (昭和56年度)	731	民間社会福祉事業振興のため、民間事業者等が社会福祉施設整備資金を融資機関から借入れたとき、支払う利子の補助を行う。 ・独立行政法人福祉医療機構及び 群馬県社会福祉協議会からの資金 1/2以内 ・市中金融機関からの資金 2/3以内(3%を上限) ※ただし、他団体等から利子補助を受けている場合の補助金は、市長が別に定める。 〔令和6年度〕 ・対象施設 7か所 セサミ・ひまわりの里・ぼっこクラブ2・三桝屋総本店(取得)・三桝屋総本店(改修)・グループホームみやび・アイヴィレッジ
9. 障がい者虐待防止 対策支援費事業 (平成24年度)	32	虐待を受けた障がい者の迅速かつ適切な保護、養護者に対する適切な支援及び関係機関や民間団体との連携協力体制の整備を行う。 〔令和6年度〕 0人
10. 重症心身障がい者 等短期入所支援 事業 (平成27年度)	144	在宅で重症心身障がい者等を介護する家族の、精神的・肉体的負担の軽減を図るため、館林厚生病院が実施する事業に対し、その経費の一部を補助する。 〔令和6年度〕 0人
11. 発達障がい者 支援事業 (平成26年度)	8,568	発達障がい者が安心して地域で生活していくことができるように、発達障がい者の乳幼児期からの各ライフステージに応じた一貫した支援体制を整備し、社会全体で発達障がい者を支える仕組みを確立する。

(3)障がい者の住みよい街づくり推進事業

事業名 (事業発足年度)	予算額	事業概要
生活環境整備事業 1. 重度身体障がい者 (児)住宅改造費 補助事業 (平成6年度)	千円 1,000	障がい者又は障がい者と世帯を同一にする者が、障がい者に適する居住環境を改善するために家屋を改造する場合、その経費の一部を補助する。 ・補助割合 600,000円(玄関・浴室・便所等)を補助基本額上限として、県市補助5/6(改造者負担1/6) ※前年分市町村民税所得割160,000円未満の世帯の人が対象 〔令和6年度〕 1件
福祉サービス事業 1. 心臓病児手術見舞 金支給事業 (昭和54年度)	200	心臓に疾患のある児童が心臓手術を受けたとき、その保護者に対して見舞金を支給する。 50,000円 ~ 100,000円 〔令和6年度〕 0人
2. 口蓋裂児歯列矯正 手術見舞金支給 事業 (昭和56年度)	50	口蓋裂のある児童が歯列矯正手術を受けたとき、その保護者に対し見舞金を支給、児童の健全育成を図る。 〔令和6年度〕 0人

事業名 (事業発足年度)	予算額	事業概要
3. 心身障がい児(者) 自助具等購入費 補助事業 (昭和58年度)	千円 100	在宅の心身障がい児(者)が自助具等を購入し、日常生活を容易にしようとする場合、費用の全部又は一部を補助し、負担の軽減を図る。 ※補助額 ・被保護世帯及び所得税非課税世帯 全額 ・前年分所得税額30,000円未満の世帯 1/2 ・前年分所得税額30,000円以上の世帯 1/3 〔令和6年度〕 0件
4. 聴覚障がい者 教養講座 (昭和60年度)	45	聴覚障がい者が社会生活に必要な知識の吸収を図り、併せて意見交換、情報交換等の研修の場を設け教養の向上を図る。 (聴覚障害者福祉協会に委託) 〔令和6年度〕 3回 (教養講座、ろう者講演会等)
5. 視覚障がい者 生活訓練教室 (昭和61年度)	45	視覚障がい者が日常生活上必要とされる諸能力について、訓練を行い、感覚日常生活能力の向上を図る。 (視覚障害者協会に委託) 〔令和6年度〕 3回 (教養講座、情報交流会等)
6. 膀胱・直腸・透析患者自立更生奨励金の支給 (昭和61年度)	1,344	日常生活に著しい制限を受け厳しい生活をしいられている人工肛門・人工膀胱受術者、及び腎臓機能障がい者(透析患者)に対し自立更生奨励金を支給し、社会参加意欲の高揚と福祉の増進を図る。 ただし、腎臓機能障がい者通院交通費助成対象者は除く。 〔令和6年度〕 スタ受術者 21人 透析患者 23人 計 44人 年額 36,000円支給 (1人1回限り)
7. 特定疾患患者等 見舞金の支給 (昭和51年度)	1,080	原因が不明で治療法も確立していない特定疾患患者等に対して見舞金を支給し福祉の増進を図る。 〔令和6年度〕 小児慢性疾患患者 3人 特定疾患患者 37人 計 40人 年額 36,000円支給 (1人1回限り)
8. 在宅重度障がい者 介護慰労金 (平成5年度)	1,170	日常生活に著しい支障のある在宅の重度知的障がい者を介護する者に在宅重度障がい者介護慰労金を支給する。 〔令和6年度〕 該当者 10人 年額 90,000円
9. 障がい者(児)歯科医療センター運営費補助 (平成14年度)	2,809	知的・身体・精神障がい者保健医療の一層の充実を図るため、館林邑楽歯科保健医療センターの運営の補助を行う。 障がい者(児)診療 毎週火・木・金・土曜日(土のみ第2・4)

(4) 障がい者総合支援センター運営事業

事業名 (事業発足年度)	予算額	事業概要
1. 障がい者総合支援センター運営事業 (平成26年度)	千円 121,393	障がい者の住みよい街づくりを推進するため、障がい者のための複合支援施設の運営を行う。 ※主な実施事業 〔令和6年度〕 ・在宅重度心身障がい者等デイサービス事業 6人 ・地域活動支援センター事業 18人 ・児童発達支援事業(すくすく) 21人 ・放課後等デイサービス事業(すくすく) 13人 ・相談支援事業(にこにこ) 1,387人(延人数) (指定管理者: 社会福祉法人 群馬県社会福祉事業団)